

【視覚障がしい】

石狩管内

北海道札幌視覚支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1
☐ 問合せ先 TEL 011-561-7107
 FAX 011-561-2423
 E-mail sapporoshikaku-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校」

□ 校訓

「将来に向かって」

- ☐ 意欲的に学び、考える人 ☐ 心の豊かに伝え合い、思いやりのある人
☐ 健康で、たくましく活動する人

□ 概要

本校は、視覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、幼稚部から専攻科まで一貫した専門的な教育を行う学校として、北海道札幌盲学校と北海道高等盲学校が統合し、平成27年4月に開校した学校です。高等部は、普通科を設置しています。その他、高等学校卒業後に入学できる専攻科を設置しており、専攻科では、あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師の国家資格を取得するための学科（保健理療科、理療科）を設置しており、途中で視覚障がいとなった方も多数入学しています。



■特色ある教育活動

高等部普通科の教育目標

障がいによる困難を主体的に改善し、責任ある社会人として必要な知識・技能とたくましく生きる力をもつ次のような生徒を育てる

- ☐ 将来を見据え、自ら学び、考え、表現できる生徒
☐ 自他を尊重できる生徒
☐ 健康と安全を管理し、心身を鍛えることができる生徒

【 安心・安全な教育環境 】

校内を安全に移動するための誘導ブロックや見やすい教室表示、明るさを調節できる教室照明、遮光カーテン等、見えない、見えにくい生徒がストレスなく、安心・安全に過ごせる教育環境を整備しています。

【 自立活動の学習 】

視覚障がいにより困難さを生じやすい、学習や生活の基盤となる「文字の読み書き」「情報収集」「移動」「日常生活動作」などを中心に、個別に自立活動の学習を行います。高等部普通科では、早い段階で単独での登下校（帰省・帰舎）が行えるよう、歩行訓練に取り組みます。

【 視覚障がいに適した学習内容・方法 】

点字や文字を拡大して読むことは時間がかかるため、内容を精選して学習し、基礎・基本の定着が図られるようにしています。個々の生徒の実態に応じて、「聴くこと」「触ること」「残存視力を活用すること」を生かした教材・教具で学習に取り組みます。

【 ICT機器の活用 】

高等部普通科では、生徒全員がタブレット端末を所有しており、校内Wi-Fiネットワークを活用した学習に取り組んでいます。最適な環境で調べ学習を行ったり、デジタル教科書を利用したりすることにより、ICT機器の活用能力を高め、視覚障がいによる「情報収集」「文字の読み書き」の困難さを軽減しています。

※ 特別支援学校高等部や高等学校を卒業した方を対象とした専攻科を設置しています。（理療科、保健理療科）



普通科：点字を使用した教科学習



普通科：ICTを活用した学習



普通科：単独歩行に向けた学習



専攻科：あん摩施術の授業



普通科：伴走者と持久走

■普通科第1学年生徒の週時程表

【 普通学級 】

	月	火	水	木	金
1	C○英語	地理	科学と人間生活	C○英語	C○英語
2	音楽	古典	音楽	古典	現代社会
3	現代文	保健	自立活動	地理	体育
4	数学	数学	現代文	科学と人間生活	科学と人間生活
5	家庭総合	科学と人間生活	C○英語	体育	数学
6	家庭総合	現代社会	体育	LHR	自立活動

※C○英語：コミュニケーション英語

【 重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	体育	職業	体育	職業	音楽
3			理科		国語
4	英語		情報		数学
5	国語	音楽	美術	道徳	家庭
6	数学	社会		LHR	

*登校時間 8：40（月～金）

*下校時間 15：25（月～金）

■教育課程の特徴

高等部普通科の普通学級と重複障がい学級は、左表のように教科等の学習内容は異なりますが、学校行事や生徒会活動、部活動等では、生徒が一緒に協力して活動しています。

本校に入学してから視覚障がい者スポーツを通して「運動する楽しさ」を味わう生徒が多く、部活動を通して全国大会への出場やパラリンピック強化選手に指定されている生徒もいます。

□ 高等部普通科（普通学級）

高等学校と同じ教科書（拡大版、デジタル版、点字版、音声版）を使用して、同じ内容を学習します。

進学希望者には、模試や課外講習等を行います。また、インターンシップでの職業体験活動や、札幌市内の高等学校との交流及び共同学習を行います。

□ 高等部普通科（重複障がい学級）

知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の目標や内容を教科別の指導や各教科等として、国語や数学、生活単元学習、作業学習等の学習を行います。生徒の実態に合わせたグループ学習を中心に、卒業後の就労に向け、達成感や自己有用感を味わえるような授業を行います。

現場実習は、生徒の実態に応じて「学校近隣での実習」「居住地での実習」「卒業後の就労を前提とした実習」を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 一般就労（高等部専攻科）～4名【はりきゅう整骨院あすぼ、からだ元気治療院、レイス治療院帯広、苫小牧駅はりきゅう整骨院】
- 一般就労（高等部普通科）～1名【(株)弁釜札幌八軒工場】
- 福祉的就労（高等部普通科）～4名【(株)ちから、(株)ワークセンターピアハーブ、ヒューマンインターフェイス株式会社、社会福祉法人藻岩この実会もいわサポートセンター】
- 進学（高等部普通科）～7名【鹿屋体育大学、札幌医科大学技術福祉歯科専門学校、本校専攻科理療科・保健理療科】

学校QRコード

